

平成 25 年度

神石高原町教育委員会
事務の点検及び評価報告書

平成 26 年 8 月

神石高原町教育委員会

目 次

はじめに	1
I 教育委員会の点検と評価制度の概要	2～3
1 点検と評価の趣旨	2
2 対象年度	2
3 点検と評価の対象事業	2
4 点検と評価の方法	2～3
II 教育委員会の活動状況及び活動概要	4～8
1 教育委員会の活動状況	4～6
2 教育委員会活動の概要	7～9
III 点検評価の結果	10～21
1 確かな学力の向上	10
2 豊かな心や健やかな体の育成	11
3 信頼に応える学校づくり	12
4 教育環境の整備	13
5 中高一貫教育	14
6 食育の推進	15
7 学習機会の提供及び学習環境づくり	16
8 図書館の充実及び図書情報の発信	17
9 人権尊重への意識高揚、推進体制の充実	18
10 体育協会並びにスポーツ少年団への支援	19
11 質の高い芸術並びに文化の提供	20
12 文化財の保存及び継承	21
IV 外部評価委員の意見	22～23
1 教育委員会の活動	22
2 点検評価票	22
3 総合評価	23

資料1 平成25年度神石高原町教育委員会 経営計画

資料2 平成25年度神石高原町教育委員会 自己評価表

は　じ　め　に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号(以下「地教行法」という。))第27条に、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

神石高原町教育委員会では、この地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「教育委員会の自己点検並びに評価」を実施し、教育に関する学識経験を有する者の意見を付した報告書としてまとめました。

教育委員会では、今回の自己点検並びに評価の結果について、町民の皆様に公表するとともに、皆様のご意見を次年度以降の事業の立案に反映することにより、教育行政の更なる推進に努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月

神石高原町教育委員会

I 教育委員会の点検と評価制度の概要

1 点検と評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条により、教育委員会は平成20年4月から、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき神石高原町教育委員会が行った点検と評価の結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限の属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 対象年度

平成25年度

3 点検と評価の対象事業

点検と評価の対象は、神石高原町長期総合計画（平成19年度～平成28年度）の基本計画に位置付けられている①学力の定着と向上、②教育の環境づくり、③生涯学習の推進、④豊かな歴史と文化の育成及び振興の4施策で、平成25年度教育行政方針において、主要な施策として位置付けて実施した12事業について点検と評価を実施しました。

4 点検と評価の方法

点検と評価にあたっては、評価指標等を設定し、次項の表のとおり4段階の評価としました。

区 分	内 容
A	目標は、十分達成された。
B	目標は、達成された。
C	目標は、十分に達成できなかった。
D	目標は、全く達成できなかった。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の規定に

よる「教育に関し学識経験を有する知見の活用」に関しては、広い観点から知見を期して、学校教育、社会教育分野での教育や人材育成に携わった経験を持ち識見の高い、元小学校長の 東 一史 氏からご意見とご助言をいただきました。

Ⅱ 教育委員会の活動状況及び活動概要

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
委員長	山本剛久	男	元教育関係者
委員長職務代理者	中岡康典	男	自営業
委員	田邊孝章	男	自営業
委員	藤原和則	男	元団体職員・保護者
教育長	佐竹秀朗	男	元行政関係者

(2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回 臨時会 2回

(3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況

議案番号	議案名	議決日
14	神石高原町立学校評議員の委嘱について	25.4.23
15	神石高原町立学校関係者評価委員の委嘱について	〃
16	三和給食共同調理場及び豊松学校給食共同調理場運営委員会委員の任命について	25.5.23
17	神石高原町社会教育委員の選任について	〃
18	神石高原町公民館運営審議会委員の選任について	〃
19	平成25年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
20	平成26年度に小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条の規定による図書に係る採択の基本方針について	〃
21	神石高原町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の制定について	〃
22	神石高原町立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	25.7.30
23	平成26年度特別支援学級で使用する教科用図書の採択について	25.8.15

24	平成24年度神石高原町教育委員会事務の点検及び評価について	25.8.30
25	平成24年度統合中学校建設事業（繰越明許）神石高原町立統合中学校校舎等新築工事請負契約の変更について	〃
26	平成25年度統合中学校建設事業 神石高原町立統合中学校付帯工事請負契約の締結について	〃
27	平成25年度町民グラウンド整備事業 油木地区町民グラウンド整備工事請負契約の変更について	〃
28	財産の取得について	〃
29	神石高原町通学バス運行委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	〃
30	就学指導委員会への諮問について	25.10.17
31	平成25年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	25.11.5
32	平成26年度就学児童・生徒について就学指導委員会からの答申について	〃
33	神石高原町教育委員会委員の任命について	25.11.29
34	消費税改正に伴う教育委員会関係施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
35	財産の取得について	〃
36	神石高原町教育委員会委員長の選挙について	25.12.24
37	神石高原町教育委員会委員長職務代理者の指定について	〃
1	神石高原町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則について	26.1.16
2	神石高原町立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	〃
3	神石高原町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	26.2.25

4	神石高原町社会教育委員条例の一部を改正する条例について	〃
5	神石高原町民庭球場設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
6	神石高原町立グラウンド設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
7	神石高原町歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
8	神石高原町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則について	〃
9	神石高原町学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	〃
10	神石高原町学校給食共同調理場施設管理運営規則の一部を改正する規則について	〃
11	神石高原町教育委員会公印規程の一部を改正する規程について	〃
12	神石高原町立小・中学校諸費会計等取扱要綱の制定について	〃
13	神石高原町の教育行政施策の策定について	〃
14	平成26年度神石高原町学校教育の重点施策について	〃
15	平成26年度特別支援学級において使用する教科用図書の採択について	〃
16	神石高原町文化財保護委員の選任について	26.3.26
17	神石高原町スポーツ推進委員の選任について	〃
18	神石高原町図書館運営協議会委員の選任について	〃
19	神石高原町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について	〃
20	神石高原町英語検定料補助金交付要綱の制定について	〃
21	神石高原町立神石高原中学校高原寮の舎費徴収要綱の制定について	〃

2.2	神石高原町通学バス運行委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	〃
2.3	神石高原町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱について	〃
2.4	神石高原町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱について	〃
2.5	神石高原町立学校等職員定期健康診断実施要領の一部を改正する要領について	〃
2.6	神石高原町立学校職員衛生管理要綱の一部を改正する要綱について	〃

2 教育委員会活動の概要

(1) 各種会議への出席

会 議 名	出席者	開催日	場 所
広島県町教育長会及び広島県市町教育長会	教育長	25.4.15	広島市
東部教育事務所管内教育長会議	教育長	25.4.24	尾道市
平成 25 年度通信衛星授業開校式	教育長	25.4.27	油木高校
中高一貫県教育委員会協議	教育長	25.5.9	広島市
広島県町教育長会総会及び広島県市町教育長会議	教育長	25.5.24	広島市
福山北特別支援学校開校記念式	教育長	25.5.26	福山市
府中税務署管内租税教室総会	委員長	25.5.27	府中市
全国町村教育長会総会・研修会	教育長	25.5.29~30	東京都
油木高校を育てる会総会	教育長	25.7.1	油木山村
東部教育事務所管内教育長会議	教育長	25.7.12	尾道市
中国 5 県町村教育委員研修大会	教育委員	25.7.18~19	松江市
中国 5 県町村教育長研修大会	教育長	25.8.22~23	吉備高原
東部教育事務所管内教育長会議	教育長	25.10.22	尾道市
広島県町教育長会研修会	教育長	25.11.15	広島市
租税教育表彰式	教育長	25.11.27	府中市
広島県市町教育長臨時会	教育長	26.1.6	広島市
東部教育事務所管内教育長会議	教育長	26.1.24	尾道市
広島県市町教育長会議	教育長	26.1.27~28	広島市

(2) 議案以外の報告・協議状況

開催日	定例会における報告・協議内容
25.4.23	平成25年度就学児童・生徒について
〃	神石高原中学校制服及び体操服について
25.6.21	平成25年度6月補正について
25.8.15	平成25年度就学児童・生徒について
25.11.5	平成25年度就学児童・生徒について就学指導委員会からの答申について
25.11.29	平成25年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定変更について
25.11.29	平成25年度12月補正について
25.12.24	神石高原町の教育行政施策について（諮問）
26.2.25	児童の区域外就学について
〃	平成25年度神石高原町教育費3月補正予算について
〃	平成26年度神石高原町教育費当初予算について
26.3.26	平成26年度特別支援学級において使用する教科用図書の採択について
〃	指定学校変更の承認について
〃	工事請負契約の変更について
〃	平成26年度神石高原町立小中学校教職員の人事異動に係る内示について
〃	平成26年度神石高原町教育委員会事務局職員の人事異動に係る内示について
〃	連携型中高一貫教育の推進について

〃	統合中学校建設工事遅延に係る保護者説明会について
---	--------------------------

(3) 教育委員の学校訪問

訪問日	訪 問 先	内 容
25.10.16	豊松中・豊松小・来見小	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・学校教育内容など ・学校施設及び学校運営等条件整備について
25.10.17	三和小・三和中・油木小	
25.11.5	神石中・神石小・油木中	

Ⅲ 点検評価の結果

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	個に応じたきめ細かな指導
短期経営目標	確かな学力の向上

1 短期経営目標(具体)

主に、次のことに取り組み、学力向上を図る。

- ① 広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果分析
- ② 授業力向上の研修
- ③ 外国語活動を中学校へスムーズに接続
- ④ 読書習慣の定着
- ⑤ 複式学級対応の非常勤講師を配置

2 取組・方策

- ① 各学校において結果分析及び町教育委員会による分析結果の提供
 - ・各学校において、課題となる問題の分析及び改善のスケジュールの計画樹立
 - ・町教育委員会において、小中学校別のデータ分析し各学校に情報を提供
- ② 課題分析・指導改善の研究協議
 - ・小学校の研究主任により、広島県「基礎・基本」定着状況調査問題の中で、特に課題が大きいと判断する国語科2題・算数科3題を選定し、それらの誤答分析から指導改善方策について研究協議
 - ・中学校は各校で「言語活動の充実」の成果を他教科へ波及させるとともに校内研修の充実を図る
- ③ 授業力の向上研修
 - ・授業力の向上研修・・・東京大学 市川教授、広島大学 池野教授を招聘し、研修
- ④ 中学校外国語科スタートカリキュラムの改善
 - ・目標を明確にし、生徒の実態に合わせた指導を展開、カリキュラムの変更
- ⑤ 各学校で、児童会や生徒会活動、学校だより等により本の紹介・家庭での読書の呼びかけを実施
- ⑥ 複式授業対応非常勤講師の配置
 - ・来見小学校、豊松小学校、神石小学校の複式学級に、年間420時間以内で配置し、主に理科社会及び算数・国語等の単式授業として展開

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査			
実績値(平成24年度)	小国81.7(+5.6) 小算80.1(+5.1) 中国85.0(+4.0) 中数78.5(+4.4) 中英75.1(+0.9)			
目標値(平成25年度)	県平均値を上回る			
総合評価	C			
平成25年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果				
学年	国語	算数/数学	理科	英語
小学校5年生	69.9(-0.2)	70.0(+0.2)	63.3(+2.0)	—
中学校2年生	75.2(+3.5)	69.9(+0.9)	40.2(+0.3)	66.3(-5.8)
※()内は、広島県平均との差				
<p><考察> 小学校、中学校とも各科目の数値は下降傾向にあるが概ね県平均を維持している。但し、目標値からすると不十分であり、取組の効果が見受けられない結果となっている。</p>				

4 改善策

- ① 調査対象学年のみでなく、全学年での基礎基本の定着
- ② 全教職員間での課題の共有
- ③ 教師の授業力向上研修の充実
- ④ 中学校における読書習慣定着に向けた取り組みの充実

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	生徒指導等の充実
短期経営目標	豊かな心や健やかな体の育成

1 短期経営目標(具体)

「不登校」への対応として「不登校を未然に防止する取組」と「不登校児童生徒の学校復帰をめざした指導と支援」の二つの視点で取り組む。
 また、「いじめ」に対しては、受けている児童生徒の立場に立って指導し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導することにより、不登校児童生徒及び「いじめ」を減少させる。
 健やかな体を育成するため、日常から体をうごかす習慣をつける。

2 取組・方策

- (1) 神石高原町生徒指導主事研修会の開催(1回)
 各小中学校の生徒指導主事を対象に、生徒指導方針を共通理解することにより、生徒指導体制を強化した。
- (2) 児童生徒の欠席状況調査(毎日)
 児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応として担任と生徒指導主事による家庭訪問を実施することにより、未然のうちに不登校対策に努めた。
- (3) 問題行動の実態把握と指導
 月末に集約し、実態把握と必要な指導や学校訪問を行った。
- (4) スクールカウンセラーの活用
- (5) 各学校の体力づくり計画に基づいて取組

3 評価

評価指標	不登校				いじめ(1000人あたりの認知件数)			
	神石高原町		県平均		神石高原町		県平均	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
実績値(平成24年度)	0.00%	2.90%	0.40%	2.52%	5.1件	38.6件	4.0件	8.3件
目標値(平成25年度)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.0件	0.0件	0.0件	0.0件
実績値(平成25年度)	1.35%	1.84%	0.42%	2.54%	5.4件	9.2件	3.5件	5.8件
	全国体力テスト							
実績値(平成25年度) T得点	小男 (53.3)	中男 (50.7)	小男 (51.9)	中男 (51.5)	/			
	小女 (50.3)	中女 (49.2)	小女 (52.2)	中女 (51.6)				
平成25年度実績数値については、小学校で微増、中学校で微減となった。 体力テスト指数は、全国平均にはあるが、県平均を若干下回った。						総合評価	B	

4 改善策

- 教職員間の意識統一
- 学期末毎のアンケート等により児童生徒の実態把握を行い、不登校傾向児童生徒、いじめへの早期対応のための指導を強化する。
- スクールカウンセラーの活用や家庭教育支援アドバイザーの配置、また子育て支援ネットワーク会議との連携強化を図る。
- 関係機関との連携(児童福祉、保健、県等)
- 定期的な学校訪問
- 日常的に体力増進に努める学校生活づくりの検討、実践
- 業間体育の推進

平成25年度 点検評価表

中期経営目標	情報の公開及び学校評価・自己評価の推進
短期経営目標	○信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校関係者評価委員の意見を学校経営に活かす

1 短期経営目標(具体)

<p>①学校評価の充実 学校評議員、学校関係者評価委員会の充実</p> <p>②情報発信 学校だより及び学校HPによる情報発信</p> <p>③教職員の不祥事防止 町不祥事防止対策協議会の取組の充実</p>

2 取組・方策

<p>①学校評価の充実 学校評議員や学校関係者評価委員への来校依頼、学校関係者評価委員会の定期的開催及び意見の学校経営への反映</p> <p>②情報発信 学校だよりの配布・配信の徹底、学校HPの定期的な更新等により、学校の様子が地域保護者にわかるようにする取組</p> <p>③教職員の不祥事防止 各校に設置している不祥事防止委員会の機能化及び研修の充実等の取組を、町不祥事防止対策協議会において検証・意識調査分析等を行った。</p>

3 評価

評価指標	<p>①学校評議員・学校関係者評価委員への積極的な来校依頼</p> <p>②学校だよりを校区内全戸で読める工夫をした割合</p> <p>③不祥事の生起件数</p>
実績値(平成25年度)	<p>①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100%</p> <p>②学校だよりを校区内全戸が読めるような依頼等をした 100%</p> <p>③不祥事事案の発生件数 0件</p>
目標値(平成25年度)	<p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③0件</p>
総合評価	A
<p>平成25年度実績</p> <p>①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100%</p> <p>②学校だよりを校区内全戸が読めるような依頼等をした 100%</p> <p>③不祥事の生起件数 0件</p> <p><考察>①各種行事、参観日等に積極的に来校依頼している。 ②校区内全戸配布や回覧板形式で、学校の様子は広く情報提供されている。</p>	

4 改善策

<p>・町不祥事防止対策協議会の充実</p> <p>・サービス規律に係る研修の充実</p> <p>・各校のホームページの充実</p> <p>・定期的な更新及びその内容について点検・指導の充実</p> <p>・身近な学校づくり</p> <p>・コミュニティスクールの導入検討</p>
--

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	耐震対策及び学校再編計画
短期経営目標	教育環境の整備

1 短期経営目標(具体)

旧神石小学校の解体撤去及びグラウンド整備を行う。
平成26年4月開校の統合中学校の建設を実施する。

2 取組・方策

整備内容

(神石小学校)

・旧神石小学校の解体撤去, グラウンド整備

(統合中学校)

・平成26年4月開校の統合中学校校舎棟新築工事(平成25年度繰越事業)

3 評価

評価指標	耐震補強等工事の実施済棟数の割合
実績値(平成24年度)	町内小中学校校舎等の耐震化率・・・小学校=100.0% 中学校=22.2%
実績値(平成25年度)	町内小中学校校舎等の耐震化率・・・小学校=100.0% 中学校=100.0%
総合評価	A

・中学校4校9棟中耐震化対象3校7棟については統合中学校校舎が平成25年度に完成し施設を未使用化することによりすべての学校施設の耐震化を完了した。

4 改善策

・今後は、非構造部材の耐震化等を平成27年度までに実施する。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	耐震対策及び学校再編計画
短期経営目標	連携型中高一貫教育の推進

1 短期経営目標(具体)

広島県立油木高校と町内中学校による連携型中高一貫教育を平成26年4月から本格実施できるような環境づくりをしていくための事業(広島県立油木高校が連携型中高一貫教育実践校の指定を受けるための準備経費)

2 取組・方策

1.取組み全般に係る統括……連携型中高一貫教育推進協議会を中心に

(1)推進協議会の開催 3回/年

2.中高一貫教育の中身づくり……連携校の校長会を中心に

- (1)教科連携 「高校英語入門講座」生徒輸送・教科研究
- (2)教科外連携 進路・生指・総合等を中心とした教科外研究
- (3)部活動連携 部活動生徒輸送
- (4)中高合同行事 油高体験入学・学習成果発表会への生徒輸送
高校進路説明会

(5)先進地視察研修 連携型中高一貫教育公開研究発表会への参加

3.啓発活動・支援体制づくり……連携型中高一貫教育支援会議を中心に

- (1)広報紙の発行 3回/年(児童・生徒・保護者・町民へ配布)
- (2)油高パンフレットの作成 中高一貫教育ガイドパンフレットの印刷製本600部
- (3)講演会の開催 啓発活動のための講演会(大野豊)等の開催
- (4)啓発横断幕の制作 横断幕4ヶ所分

○予算総額 2,000,000円

3 評価

評価指標①	各関係者(中学生, 高校生, 小・中保護者, 地域, 中・高教員)の満足度
実績値(平成24年度)	78%
目標値(平成25年度)	70%以上
総合評価	A(実績値79.7%)
評価指標②	広島県立油木高校への町内入学率
実績値(平成24年度)	53%
目標値(平成25年度)	65%以上
総合評価	A(実績値66.7%)

1.評価のポイント

- ①教育効果の向上 ②油木高校への入学率 ③関心や期待・満足度

2.主な事業内容

平成25年度

- (1)教育効果を上げる実績づくり……中高連携教育の推進で「知・徳・体」の教育実績づくり
- (2)油木高校魅力づくり(支援策)の策定……町外生徒バス通学定期券購入賞補助事業
農業後継者研修補助事業など
- (3)支援体制の強化と県教委との調整……本格実施目標前年度における県教委へのアプローチ
- (4)連携型中高一貫教育の指定校(油木高校)を受ける

4 改善策

1.教育効果を上げる実績づくり

- (1)中高における学校現場の連携意識を高める
 - ・具体的連携実践を1人1回以上もつよう努める
 - ・中高合同視察研修
 - ・町教委主催研修会などの場を活用して, 町の方針や内容伝達

2.町内からの入学率を向上させるために

- (1)高校進路説明会の工夫
- (2)部活動の交流
- (3)油木高校魅力アップづくり支援策の継続検討(魅力化プロジェクト)
- (4)啓発活動の充実

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	食育の推進
短期経営目標	食育の推進

1 短期経営目標(具体)

近年、児童生徒の食生活をめぐる環境は大きく変化し、栄養の偏りや不規則な食事による肥満や生活習慣病の増加など、食に起因する問題は様々であり、問題解決のために食育を推進する必要がある。

食に関する専門性を持った栄養教諭を中心とし、児童生徒が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を営むことができるよう、食育の充実に図る。

2 取組・方策

- ・食育の年間計画に基づき、栄養教諭を中心に食育の授業に取り組む。
- ・地場産品食材を多く使用した給食を提供するため、また、旬の食材の活用を図るため、栄養教諭・学校栄養職員や関係機関と連携し、給食に使用する食材の掘り起しや献立検討を行い、学期に1度「神石高原ランチ」を提供する(食育地産地消推進事業)。

3 評価

評価指標	①栄養教諭の指導時間数				
実績値(平成24年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:67時間		11月～3月まで:48時間		計:115時間
実績値(平成25年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:127時間		11月～3月まで:59時間		計:196時間
※「食に関する実態調査」による(3回/年) 調査対象:小学6年生(対象校:栄養教諭配置校と未配置校より抽出)					
評価指標	②地場産品の使用割合				
実績値(平成24年度) 県目標値:29%以上		使用食品数	地場産品使用食品数	地場産品の割合(%)	(参考)町内産品使用食品数
	6月	295	78	26.4	38
	11月	290	98	33.8	49
実績値(平成25年度) 県目標値:30%以上		使用食品数	地場産品使用食品数	地場産品の割合(%)	(参考)町内産品使用食品数
	6月	291	72	24.7	30
	11月	338	109	32.2	71
※「学校給食における地場産物の活用状況調査」による(2回/年) 月～金(第3週)までの5日間 調査対象:栄養教諭・学校栄養職員配置校及び共同調理場					
総合評価	B				

4 改善策

- ・栄養教諭未配置校への活用を広げていく。
- ・地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくりや、関係機関と連携を図る。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	学習機会の提供及び学習環境づくり

1 短期経営目標(具体)

今日の課題や地域課題など個々に応じた学習機会の提供や情報発信に努める。

2 取組・方策

生涯学習講座「J-OX」の開催や成人式開催、放課後子ども教室事業、公民館活動事業を推進した。講演会や、野菜栽培、パソコン、陶芸、ソバ打ちなどの各種講座等を開催し、知的で心豊かな生活、活力ある社会の実現をめざした。また、児童向けの講座が多かったが、成人向けの講座数の増に取り組んだ。

3 評価

評価指標	成人式参加率	放課後子ども教室	公民館活動事業	生涯学習講座「J-OX」
実績値(平成24年度)	76名/104名	14,639 延人	42講座	4講座
目標値(平成25年度)	83名/110名	10,700 延人	39講座	4講座
実績値(平成25年度)	70名/110名	10,451 延人	39講座	4講座
総合評価	A	A	A	A

公民館活動においての住民のニーズは、社会情勢の変化が大きく関係している。そのことを考慮し、時機を逃すことなく、現代的課題についての学習機会を提供、奨励していかなければならない。また、生涯をととして学べる支援体制を見直す必要がある。

4 改善策

- ・多種多様な教室・講座を開催することにより、幅広い年齢層への情報を発信し、生涯をととして学べる学習機会の提供を図るとともに、さらに効率的な運営に努める。
- ・公民館によって運営の方法や教室・講座等の内容に差異があるが、地域性、独自性を生かしつつ、共通する地域的な課題について学習し、より効果的な活動内容を実現する。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	図書館の充実及び図書情報の発信

1 短期経営目標(具体)

読書を通じた「教養のまちづくり」を推進する。

2 取組・方策

「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組みを行うとともに、図書館情報システムを活用した図書館利用の促進を図る。このほか、読書に親しんでもらえるように、「絵本のおはなし会」、「おはなしコンサート」の開催や図書館だよりの発行を行う。

3 評価

評価指標	読書感想文コンクール	図書館貸出状況	図書館だより発行	おはなしコンサート
実績値(平成24年度)	497 点	36,408 冊	12回	9 会場
目標値(平成25年度)	615 点	34,200 冊	12回	9 会場
実績値(平成25年度)	527 点	36,636 冊	12回	9 会場
総合評価	A	A	A	A

費用対効果を考慮しながら、限られた予算の中で要望に応えるべく図書資料や視聴覚資料の購入と提供を行っている。施設の維持管理面においても最少経費をもって運営に努めている。

4 改善策

- ・読書感想文コンクールは6年間継続し、3年前からは「黒い雨」の部も設けたが、応募者数が横ばいである。方法についての工夫が必要である。
- ・図書館においては、自館にない本については、他団体との相互貸借を活用したり、順次購入し要望に応じている。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	人権を尊重する社会づくり
短期経営目標	人権尊重への意識高揚, 推進体制の充実

1 短期経営目標(具体)

人権尊重の精神に徹し, あらゆる差別をなくす意欲と実践力を持った住民の育成をはかり, 明るく住みよい町づくりを推進する。

2 取組・方策

町, 町教育委員会, 社会教育委員, 人権擁護委員, 自治振興連絡協議会等で人権学習推進実行委員会を組織しており, 公民館を中心に自治振興会単位での学習を推進する。

3 評価

評価指標	人権学習会			
実績値(平成24年度)	35団体/1,397名			
目標値(平成25年度)	32団体/1,210名			
実績値(平成25年度)	32団体/1,057名			
総合評価	B			

自治振興会を通じて学習会を行い, 実施率は100%である。他の行事と併せて開催し, 参加率を上げる工夫がみられるようになった。

4 改善策

交付金として自治振興会へ世帯割と均等割(共通経費)の方法で交付しているが, 実施内容, 実施方法等とあわせて, 配分について検討を要する。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	スポーツの振興
短期経営目標	体育協会並びにスポーツ少年団への支援

1 短期経営目標(具体)

スポーツの推進と普及活動

2 取組・方策

スポーツ推進委員を中心に、出前教室等各地域へ委員の派遣を行なっている。競技種目からスポーツレクリエーションへとニーズが移ってきており、楽しく体を動かすことへの啓発に力を入れた。地域スポーツの中心を担う体育協会や、スポーツ少年団については、運営費の助成を行い支援する。

3 評価

評価指標	ニュースポーツ講習会	トップアスリート教室	体力検定	
実績値(平成24年度)	7回	3回	2回	
目標値(平成25年度)	6回	3回	2回	
実績値(平成25年度)	1回	4回	2回	
総合評価	C	A	A	

競技スポーツよりも健康づくりへ移行することが求められ、保健・福祉機関との連携を深めることが必要である。

4 改善策

スポーツ推進委員の活動を広く町民へ周知し、出前教室等地域に出て行く活動の増加をめざす。スポーツ推進委員の年齢分布、活動歴は幅広い人材に委嘱できており効率的であるが、今後、後継者の育成や平日昼間の活動も重要となる。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	質の高い芸術並びに文化の提供

1 短期経営目標(具体)

質の高い芸術・文化の体験、鑑賞ができる機会の提供を行う。

2 取組・方策

町文化連盟の活動支援を行うとともに、質の高い芸術・文化の体験、鑑賞ができる機会の提供や、文化・芸能の拠点としての施設の管理運営を行う。

3 評価

評価指標	町文化連盟	巡回演奏会		
実績値(平成24年度)	88団体/898名	小学校5校・中学校4校		
目標値(平成25年度)	88団体/900名	小学校5校・中学校4校		
実績値(平成25年度)	88団体/898名	小学校5校・中学校4校		
総合評価	A	A		

事業効果の面から、より多くの町民が参加し、体験及び鑑賞ができるよう工夫が必要である。

4 改善策

町文化連盟が行う、総合文化祭や、神石郡美術展の周知を図り、より多くの町民が、文化・芸術の鑑賞ができる場の提供を行う。

町内の小・中学校を巡回する演奏会により、質の高い音楽に触れ、音楽への関心や、技術の習得を図る。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	文化財の保存及び継承

1 短期経営目標(具体)

文化財が町の歴史、文化等の理解、将来の発展のために欠くことのできないものであることを認識し、それらを保存、活用する。

2 取組・方策

町指定文化財、古文書を含む歴史的文書等の保存、活用等について協議、検討するとともに、予算の範囲内での補助・助成を行う。
民俗資料館の運営及び文化財の発掘調査を行う。

3 評価

評価指標	町指定文化財	古記録保管庫の目録の作成		
実績値(平成24年度)	76	66 千円		
目標値(平成25年度)	80	360 千円		
実績値(平成25年度)	76	39 千円		
総合評価	B	C		
貴重な建造物、歴史的資料、民俗芸能、記念物等を保存、活用していくニーズは年々高まっている。				

4 改善策

指定文化財等の所有者・保持者の高齢化、後継世代の育成の課題等もあり、従前の管理、継承が困難な状況になりつつある。地域の共有財産として保管していく方途を考察しなければならない。
文化財保護委員の協力を得ながら、町内に存する貴重な文化財の町指定に取り組む。
効率的に事業を遂行しようとするれば、知識と経験を有する専門職員等の指導、協力を要する。

外部評価委員の意見

今日、教育を巡る命に関わる社会問題は枚挙にいとまがない。中でも家庭の教育機能の低下と、児童生徒の体験不足や社会性の未熟さから現れる諸問題は全国津々浦々に顕在化している。その傾向は本町だけが例外であり得るはずはない。教育基本法の中でも「他と協調しながら、その生涯を切り拓いていく力」が一層求められています。

そんな中で、教育委員会の任務は学校教育・社会教育からスポーツ・文化活動の振興など多方面・広範囲にわたっている。

一方、予算面では国段階から教育予算の抑制・効率運営を求められ、今日の問題への独自の新たな対策を打ち出すのに大変厳しいという事情がある。

教育委員会制度が地味ではあるが、国民の知的水準を高め社会発展の基盤づくりとして大きな役割を果たしてきたし、これからも果たしていくことを、改めてこの点検評価が示してくれ、さらに広い視野のもと限られた財政の中から優先有効な施策が導き出される根拠となればと願うものである。

1. 教育委員会の活動

教育委員会会議は、定例化され必要に応じて臨時会が開かれているなど、論議が尽くされての施策執行が行われており、十分にその機能を果たしていると認められます。

小・中学校教育への学校訪問や授業参観などを通じて児童生徒の実態に触れられ学校現場のありのままの様子を適切に把握されています。

教育施設設備については、計画的に着実に整備できていると思います。

授業や学校教育活動は、なんと言っても児童生徒のモチベーション・やる気と先生の資質・やる気です。学校長の学校運営方針を把握して、必要な人材を配置できるよう配慮することが重要だと考えます。

命を守るという観点から、食の教育と心の教育もすぐに成果は出ませんが欠かすことができません。関係者の規範意識や倫理観の昂揚が望まれます。

芸術・文化の振興、生涯スポーツの推進についても着実に実績が上がってい

ます。

2. 点検評価票

「平成 25 年度教育行政方針」を基にした、主要な事業ごとに取り組みを評価して改善策を明らかにし、執行した結果がわかりやすく的確に示されている。

- ・学校教育では、新教育課程の実施に伴う教材教具の整備は着実に行われ、安全安心の施設整備は計画的に進んでいる。
- ・確かな学力の向上・健やかな体の育成という点では、総合評価が気になりますが、特定学年の学力テストの平均値・体力テストのみで判断するには不十分であり今後考慮すべきではないかと考えます。

数値化が難しいかと思うが、児童生徒の努力や向上心を見るなど、全学年の数値も加えれば一見落ち込んでいるかに見える評価も正確さを増すのではないかと考えます。

- ・社会教育では、公民館を拠点に地域の教育力を取り込むなど、子供たちの地域行事への参加や学習活動が着実に積み上げられており、また町民の芸術文化に触れる機会の工夫がなされており、今後とも維持継続することが町民から期待されている。
- ・図書館事業では、シルトピア図書館を拠点に「教養のまちづくり」に貢献する成果を上げている事がよくわかる、引き続き地道な積み上げを望む。
- ・スポーツの振興では、青少年の大会参加成績にめざましいものがあり、また町民の幅広い年齢層のスポーツレクリエーション普及に貢献している。
- ・文化財の継承・保存では、将来に向けて誇りうる歴史の継承・保存にむけての活動にたゆまぬ努力・支援が必要である。

3. 総合評価

今回、教育委員会事業 12 項目にわたり点検・評価を実施いたしました但個別の課題はあるものの、良好な成果が達成されているものと評価しました。

教育行政は、その時代のニーズに対応しなければなりません、本質は人を育てるといふ崇高な使命があります。少し長いスパンで見守る優しいまなざしも必要な心得だと思います。

この点検評価に満足することなく、時代の要請・地域の意見・教育関係職員の見解に耳を傾けて頂きよりすばらしい教育委員会になるよう念願し、これまで

の教育委員会関係者の熱意と努力に敬意と感謝を申し上げ、総合評価の締めと
します。

平成 26 年 8 月 22 日

外部評価者 東 一史

平成 25 年度神石高原町教育委員会 経営計画

I ミッション

「神石高原町長期総合計画」における施策「自然と歴史を活かした教育・文化のまちづくり」の推進とともに、平成 25 年度教育行政方針に基づく教育行政を推進する。

II ビジョン

【町民像】

- 学校教育では、神石高原町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し夢や希望・生き甲斐を持つ。

【教育委員会像】

- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- PDCAのマネジメントサイクルによる業務遂行を目指す。
- 報告・連絡・相談などによる組織的な対応を目指す。
- すばやい対応を目指す。

III 現状分析

【学校教育】

- 中学校学力向上対策に取り組み、一定の成果を挙げている。県の平均通過率を上回っているが、活用問題では小学校・中学校とも課題がある。
- 地域を題材とした道徳教材の開発を通して地域への関心や郷土愛を育み、体験学習では、町内小学校 5 年生全員による 3 泊 4 日の合宿体験を通して規範意識や自立心、連帯感の醸成を図っている。
- 学校からの情報発信として、保護者・地域への学校便りやホームページへの掲載、公開授業の積極的な開催に努めている。
- 児童生徒の安全確保のため、学校施設の耐震化に努め平成 25 年度末では 100%の耐震化率とする。

【生涯学習】

- 住民への学習の場の提供は行われているが、幅広い年代層の参加に工夫が必要。
- 図書等貸出利用者数が近年、横ばい状態である。
- 人権学習は各自治振興会等で 100%の実施率である。
- 生涯スポーツは、各種教室・大会を開催しているが、限られた住民の参加傾向がある。
- 文化財の保存伝承については、目録の作成及び整理が急務である。

平成 25 年度神石高原町教育委員会 自己評価表

中期経営目標 (長期総合計画)	短期経営目標 (平成 25 年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値 () は、広島県平均との差)			目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
				H24	H25	H25	H25	H26		
学力の定着及び向上	○確かな学力の向上 ・言語活動の充実 ・情報教育の充実 ・外国語活動を中学へ接続 ・読書活動の充実 ・特別支援教育の充実 ・環境教育	・各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に活かす児童生徒がわかる授業を行う。 ・「不登校を未然に防止する取組と「学校復帰をめざした指導と支援」の視点で取り組む。 ・「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導する。 ・全国体カデテストの実施	・広島県「基礎・基本」定着状況調査 ・不登校・いじめの認知件数 ・いじめ(1000人当たりの認知件数) 小 5.1 件 中 38.8 件 ・全国体カデテスト 小 5 男 47.9(51.4) 小 5 女 56.0(51.7) 中 2 男 50.7(51.5) 中 2 女 49.2(51.6)	H24 小国 81.7(+5.6) 小算 80.1(+5.1) 中国 85.0(+4.0) 中数 78.5(+4.4) 中英 75.1(+0.9)	H25 小国 69.9(-0.2) 小算 70.0(+0.2) 小理 68.9(+2.0) 中国 75.2(+3.6) 中数 69.9(+0.9) 中理 40.2(+0.3) 中英 66.8(-5.8)	H25 前年度数値を上回る	H26 前年度数値を上回る	C	・調査対象学年のみでなく、全学年での基礎基本の定着 ・全教職員間での課題の共有 ・教師の授業力向上のための研修 ・担任や生徒指導主事による継続的な家庭訪問を実施した。 ・特に中学校においては、いじめを許さない継続的な取組が功を奏している。 ・いずれも県平均を下回った。 ・日常的に体を動かす取組が必要 ・業間体育の推進	
教育環境づくり	○信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校評価委員会の意見を学校経営に活かす	・学校の情報を保護者・地域へ発信し、保護者・地域の意見を収集し、学校経営に活かす。	①委員への来校依頼 ②学校だよりの校区内配付 ③不祥事生起件数 ・耐震補強等工事の実施 ・済理教の割合	① 100% ② 100% ③ 1 件	① 100% ② 100% ③ 0 件	① 100% ② 100% ③ 0 件	① 100% ② 100% ③ 0 件	A	①町不祥事防止対策協議会の充実 ・服装規律に係る研修の充実 ②各校のホームページの充実 ・定期的な更新 ③身近な学校づくり ・コミュニケーションの導入検討	
耐震対策及び学校再編計画	○教育環境の整備 ・学校校舎、体育館の耐震工事 ○学校再配置 ・学校統合の推進	・子どもたちの学ぶ意欲を高め、学校生活に夢と誇りを与え、たくましく生きる力を育む教育活動を支えるために、安全で快適な教育環境整備を行う。	小 77.7% 中 22.2%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	A	・非構造部材の耐震化等の実施	
	○中高一貫教育 ・連携型中高一貫教育の推進	・平成 26 年度に本町教育へ導入予定している「連携	・各関係者の満足度	78%	79.7%	①65.0%以上	①70.0%以上		①教育効果を上げる実績づくり ・中高の学校現場の連携意識向上	

平成 25 年度神石高原町教育委員会 自己評価表

中期経営目標 (長期総合計画)	短期経営目標 (平成 25 年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値 ()は、広島県平均との差)			目標値		評価の価値 (自己評価の結果)	改善策	
				H24	H25	H25	H25	H26			
学力の定着及び向上	○確かな学力の向上 ・言語活動の充実 ・情報教育の充実 ・外国語活動を中学へ接続 ・読書活動の充実 ・特別支援教育の充実 ・環境教育	・各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に活かす ・児童生徒がわかる授業を行う。	・広島県「基礎・基本」定着状況調査	H24 小国 81.7(+5.6) 小算 80.1(+5.1) 中国 85.0(+4.0) 中数 78.5(+4.4) 中英 75.1(+0.9)	H25 小国 69.9(-0.2) 小算 70.0(+0.2) 小理 63.9(-2.0) 中国 75.2(+8.6) 中数 69.9(+0.9) 中理 40.2(+0.3) 中英 66.3(-5.8)	H25 前年度数値を上回る	H26 前年度数値を上回る	C	・小中ともに下降気味であるが概ね県平均を維持。 ・取組の効果が目に見えない結果となった。 ・取組の見直しも必要。	・調査対象学年のみでなく、全学年での基礎基本の定着 ・全教職員間での課題の共有 ・教師の授業力向上のための研修	
学校	休養活動等の充実	・「不登校を未然に防止する取組と「学校復帰をめざした指導と支援」の視点で取り組む。 ・いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導する。 ・全国体カテスタの実施	・不登校、いじめの認知件数	・不登校 小 0.0% 中 2.9% いじめ(1000人当たりの認知件数) 小 5.1件 中 38.6件 ・全国体カテスタ 小 5 男 47.9(61.4) 小 5 女 56.0(61.7)	・不登校 小 1.4% 中 1.8% いじめ(1000人当たりの認知件数) 小 5 男 53.3(61.9) 小 5 女 50.3(52.2) 中 2 男 50.7(61.6) 中 2 女 49.2(61.6)	認知件数ゼロ	認知件数ゼロ	B	・教職員間の意識統一 ・児童生徒の発端把握と早期対応 ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・関係機関との連携 ・定期的な学校訪問	・担任や生徒指導主事による継続的な家庭訪問を実施した。 ・特に中学校においてはいじめを許さない継続的な取組が功を奏している。 ・いずれも県平均を下回った。	・教職員間の意識統一 ・児童生徒の発端把握と早期対応 ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・関係機関との連携 ・定期的な学校訪問
教育課	○信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校評価委員会の意見を学校経営に活かす	・学校の情報を保護者地域へ発信し、保護者・地域との意見を収集し、学校経営に活かす。	①委員への来校依頼 ②学校だよりの校区内配付 ③不祥事生起件数	① 100% ② 100% ③ 1件	① 100% ② 100% ③ 0件	① 100% ② 100% ③ 0件	① 100% ② 100% ③ 0件	A	①町不祥事防止対策協議会の充実 ・服従規律に係る研修の充実 ②各校のホームページの充実 ・定期的な更新 ③身近な学校づくり ・コミュニケーショングループの取組検討	・各種行事や参観日等に積極的に来校依頼している。 ・学校の様子は、広く情報提供されている。	・町不祥事防止対策協議会の充実 ・服従規律に係る研修の充実 ②各校のホームページの充実 ・定期的な更新 ③身近な学校づくり ・コミュニケーショングループの取組検討
評価	○教育環境の整備 ・学校校舎、体育館の耐震工事 ○学校再配置 ・学校統合の推進	・子どもたちの学ぶ意欲を高め、学校生活に夢と誇りを与え、たくましく生きる力を育む教育活動を支えるために、安全で快適な教育環境整備を行う。	・耐震補強等工事の実施 ・済棟数の割合	小 77.7% 中 22.2%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	A	・学校の耐震化は完了した。	・非構造部材の耐震化等の実施	・教育効果を上げる実績づくり ・中高の学校現場の連携意識向上
育成	○中高一貫教育 ・連携型中高一貫教育の推進	・平成 26 年度に本町教育へ導入予定している「連携	・各関係者の満足度	78%	79.7%	①65.0%以上	①70.0%以上		・油木高校への関心や期待、満足度は、目標を	・教育効果を上げる実績づくり ・中高の学校現場の連携意識向上	

		<p>型中高「質教育」の制度化に向け、「推進協議会」や「支援会議」との連携と中高の交流事業の充実、体系化を図る。</p>	<p>・油木高校への町内入学率</p>	<p>②53%</p>	<p>②66.7%</p>	<p>① 65%以上</p>	<p>②65%以上</p>	<p>A</p>	<p>達成した。 ・町内中学校からの入学率は、目標を達成した。</p>	<p>②町内からの入学率の向上 ・高校進路説明会の工夫 ・部活動での活用 ・油木高校魅力アップづくり支援策の継続実施 ・啓発活動の充実</p>
	<p>食育の推進 適学対策 家庭教育力の向上</p>	<p>○食育の推進 ・食育の授業を通じて、望ましい食習慣や食に関わる正しい知識と食を選択する力を身につけさせる。</p>	<p>・栄養教諭の指導時間 100時間以上</p>	<p>②53%</p>	<p>196時間</p>	<p>前年度数値を上回る</p>	<p>前年度数値を上回る</p>	<p>A</p>	<p>・栄養教諭の指導時間数は、県の目標値を超えた。</p>	<p>・栄養教諭未配置校への活用を広げていく。 ・地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくり ・関係機関との連携 ・地場産品の使用割合調査の頻度(学期ごとに実施)</p>
	<p>生涯学習の推進</p>	<p>○生涯学習・社会教育の振興 ・学習機会の提供及び学習環境づくり</p>	<p>・成人式 73.1% ・放課後子ども教室 14,639 延人 ・公民館活動事業 42 講座 ・J-OX 4 講座</p>	<p>②53%</p>	<p>32.2%</p>	<p>30%以上</p>	<p>30%以上</p>	<p>A</p>	<p>・生涯学習講座「J-OX」の開催や成人式開催、放課後子ども教室事業、公民館活動事業の実施で、知的で心豊かな生涯、活弁ある社会の実現をめざせた。</p>	<p>・住民の身近なところで、より多くの学習機会の提供を図る。 ・更に効果的な運営 ・共通する地域的な課題について学習し、より効果的な活動内容の実現</p>
	<p>生涯学習の推進</p>	<p>○図書館の充実及び図書情報の発信</p>	<p>・読書を通じた「教養のまちづくり」を推進し、「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組み、気軽に本を親しめる「ブック・クローニング」の充実など、読書に親しめる環境づくりに努める。</p>	<p>②53%</p>	<p>読書感想文コンクール 527 点 図書館貸出状況 36,636 冊</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>A</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>
	<p>生涯学習の推進</p>	<p>○図書館の充実及び図書情報の発信</p>	<p>・読書を通じた「教養のまちづくり」を推進し、「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組み、気軽に本を親しめる「ブック・クローニング」の充実など、読書に親しめる環境づくりに努める。</p>	<p>②53%</p>	<p>読書感想文コンクール 497 点 図書館貸出状況 36,408 冊</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>A</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>
	<p>生涯学習の推進</p>	<p>○図書館の充実及び図書情報の発信</p>	<p>・読書を通じた「教養のまちづくり」を推進し、「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組み、気軽に本を親しめる「ブック・クローニング」の充実など、読書に親しめる環境づくりに努める。</p>	<p>②53%</p>	<p>読書感想文コンクール 497 点 図書館貸出状況 36,408 冊</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>多くの方に読書をするため、図書等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>A</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>	<p>・読書感想文コンクルールの応募件数は少しではあるが前年度を上まつた。 ・図書の出貸や図書館だよりの発行は、前年度より増加した。</p>

						内容を充実を図り、多くの方に参加してもらうよう周知を行う。	おはなしコンサート 9会場	おはなしコンサート 6会場					内容を充実を図り、多くの方に参加してもらうよう周知を行う。	A		
	人権を尊重する社会づくり	人権尊重への意識高揚、推進体制の充実	・社会教育の基盤に位置づけ、地域の状況に即した住民学習を生徒学習として促進し、町民の人権尊重への意識高揚、推進体制の充実を努める。	参加人数	・人権学習会 38団体 1,897名 ・指導者研修会 1講座	・人権学習会 32団体 1,057名							お互いの人権を尊重し、住みよい町とするため、指導者研修を行う。	B	・実施内容や実施方法が画一的になり、参加者も固定化している。 工夫	・実施内容、実施方法等検討 ・他の行事等と併せて開催する等の工夫
	スポーツの振興	○生涯スポーツの推進 ・体育協会並びにスポーツ少年団への支援	・低下傾向にある子どもの体力を重視し、スポーツ教室やトップアスリート派遣事業などスポーツに親しみをもち、体力や技術の向上に向けた事業の展開を図る。	講演会や各種教室などの活動	・ニュースポーツ講習会 7回 ・トップアスリート教室 3回 ・体力検定 2回	・ニュースポーツ講習会 1回 ・トップアスリート教室 4回 ・体力検定 2回							プロ選手を招聘し、専門的な指導を行ってほしい、体力の向上を図る。 また、ニュースポーツの普及に努める。	A	・出前教室等地域へスポーツ推進委員を派遣し、楽しく体を動かすことへの啓発に力を入られた。 ・スポーツ推進委員の後継者育成 ・保健福祉機関等との連携	・スポーツ推進委員の活動を広く町民へ周知 ・出前教室等地域に出て行く活動の増加 ・スポーツ推進委員の後継者育成 ・保健福祉機関等との連携
豊かな歴史と文化の育成、振興	・文化団体の育成及び支援	○芸術・文化の振興 ・質の高い芸術並びに文化の提供	・芸術や文化活動の推進では、町文化連盟の活動支援を行うとともに、質の高い芸術や文化の体験、鑑賞ができる機会の提供に努める。	質の高い芸術や文化の体験の提供	・町文化連盟 88団体 898人 ・巡回演奏会 小学校5校・中学校4校	・町文化連盟 88団体 898人 ・巡回演奏会 小学校5校・中学校2校							町文化連盟の支援を行い、町民の文化芸術に関する関心を高める。ふくやま芸術文化ホールと連携し、プロの演奏家を見学し、音楽に関する感性を育てる。	A	・総合文化祭や郡美術展の周知 ・より多くの町民が、文化や芸術を鑑賞できる機会の提供ができた。 ・更に質の高い音楽に触れ、音楽への関心や技術の習得	・質の高い芸術や文化の体験と鑑賞ができる機会の提供ができた。 ・更に質の高い音楽に触れ、音楽への関心や技術の習得

	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の継承・保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存及び継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の目録を作成し、少しずつ整備している。保存施設を整備している。今後、分類整理を行う。現在、保存管理に努める。 ・町内外の個人所有に係る文化財についても、調査・収集・保管に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の分類整理・保存管理 ・発掘調査の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・古記録保管庫の目録の作成 66千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・古記録保管庫の目録の作成 89千円 	<ul style="list-style-type: none"> 古記録保管庫内の目録の作成及び整理を行う。各支所が所有する行政文書の収集を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文書等の保存、活用等が計画とおりできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財等の所有者や保持者の高齢化、後継世代の育成の問題等もあり、従前の管理、継承が困難な状況になりつつある。地域の共有財産として、保管していく方途の考察 ・知識と経験を有する専門職員等の指導及び協力の要請 ・豊松支所内の旧職員を改築し、古文書を保管している部屋の調査を行った。
--	--	---	---	---	--	--	--	---	---	---